

出身国情報の重要文書 ガンビア

2022年6月16日更新

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

該当なし

英国内務省

<英国政府ウェブに掲載中の文書とその前訂版>

英国内務省「[国別政策及び情報ノート - ガンビア：性的指向とジェンダー・アイデンティティ又は表現、2.0版（Country Policy and Information Note - The Gambia: Sexual orientation and gender identity or expression, Version 2.0）](#)」

（2019年8月）[外部リンク：[英国政府ウェブ](#)] / 訳文なし

<その他の英国政府ウェブから既に削除されている文書>

英国内務省「[国別政策及び情報ノート - ガンビア：政治的意見、2.0版（Country policy and information note - Gambia: political opposition, Version 2.0）](#)」

（2017年3月）[外部リンク：[refworld](#)] / 訳文なし ※2021年6月17日に英国政府ウェブより削除

英国内務省「[国別政策及び情報ノート - ガンビア：女性器切除（FGM）、1.0版（Country Policy and Information Note - Gambia: Female genital mutilation \(FGM\), Version 1.0）](#)」（2016年12月）[外部リンク：[refworld](#)] / 訳文なし

※2021年6月17日に GOV.UK から削除

英国内務省「[出身国情報報告 ガンビア 2013年11月5日版（仮訳）](#)」（2007年2月14日）[外部リンク：[入管庁ウェブ](#)]

オーストラリア外務貿易省（DFAT）

該当なし

欧州連合難民機関（EUAA） / 旧欧州難民支援事務所（EASO）

該当なし

その他の主な文書

カナダ移民難民委員会（IRBC）「[ガンビア：女性器切除（FGM）の慣習；同慣習に反対する人々や NGO の取扱い；同慣習の被害者および同慣習に反対する者に与](#)

[えられる国家保護（2016年～2018年5月）](#)」（2018年5月18日）[外部リンク：[refworld](#)] / 訳文なし

\_\_\_\_\_ 「[クエリー回答 \[GMB105841.E\] : 愛国再建同盟 \(APRC\) メンバーの取扱い \(2017年1月～7月\)](#)」（2017年7月31日）[外部リンク：[IRBC](#)] / 訳文なし

フランス難民・無国籍庇護局（OFPRA）「[ガンビア：ジャングラーズ \(Les Junglers\)](#)」 [外部リンク：[EUAA COI Portal](#)] / 訳文なし

\_\_\_\_\_ 「[ガンビア：バビロン村とその周辺地域間の土地紛争 \(Gambie : Conflit foncier entre le village de Babylon et des villages voisins\)](#)」（2021年5月10日）[外部リンク：[OFPRA](#)] / 訳文なし

\_\_\_\_\_ 「[ガンビア：上流地方における貴族の子孫と奴隷の子孫の緊張関係 \(Gambie : Tensions entre descendants de nobles et descendants d'esclaves dans la région de l'Upper River\)](#)」（2020年2月28日）[外部リンク：[OFPRA](#)] / 訳文なし

Asylos 「[クエリー回答 \[AFR2022-12\] ガンビア：2014年クーデター未遂事件とジャングラーズ \(La tentative de coup d'état de 2014 et les junglers\)](#)」（2022年4月）[外部リンク：[Asylos](#)]

※ **ハイライト** は、日本語の訳文がある文書。